

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人飯能市社会福祉協議会

令和6年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
-----------	-------------	-----------

【管理部門】		
《庶務会計係》		
(1)	会務の運営	
	① 役員会等の開催	
	(ア) 理事会の開催	(1). 開催回数 4~6回、原則参集による開催とする (2). 出席率改善のため、半期もしくは四半期程度での開催日程を決定し、事前に通知する (3). 令和4年度に実施したアンケートを参考に、令和7年6月任期満了に向けた選出区分及び定数に関する協議を開催ごとに実施
	(イ) 監事会の開催	(1). 開催回数 1回 活発な意見がいただけるような資料作成の実施及び時間に余裕を持った開催(半日程度)
	(ウ) 評議員会の開催	(1). 開催回数 3~4回、原則参集による開催とする (2). 半期もしくは四半期程度での開催日程を決定し、事前に通知する (3). 令和7年6月任期満了時に向けて、選出区分及び定数に関する理事会での協議内容をフィードバックし、意見徴取する
	(エ) 評議員選任解任委員会の開催	(1). 開催回数 随時 (2). 後任評議員人事の選任にあたっては、定款に定められている定数を勘案しながら、適宜実施 (3). 後任委員人事について、令和7年6月へ向けて早期に検討する
(2)	人材育成	
	① 職員の資質向上のための仕組みの構築	
	(ア) 職場研修推進会議の実施	(1). 第3次発展強化計画に規定する「職員育成推進PT」において、本制度も含め職員育成の在り方を引き続き検討する (2). 令和7年1月に職員研修制度が新たに実施できるよう9月末を目途に検討を完了させる (3). 職員自身パーソナリティを認識する機会の提供及びそれに基づく職員研修制度の実施(主査級以上職員試行実施)
	(イ) 職員の資格取得の支援(補助金交付等)	(1). 第3次発展強化計画に規定する「職員育成推進PT」において、本制度も含め職員育成の在り方を引き続き検討する (2). 利用促進のため年度当初に周知啓発に努める
		(1). 開催回数 4回 (2). 出席率 75.7%
		(1). 開催回数 1回 (2). 開催時間 2時間
		(1). 開催回数 3回 (2). 出席率 75%
		(1). 開催回数 1回
		(1). PT開催回数 12回 (尾上社労士)
		(1). 会場利用支援 1件 (2). 社会福祉実習にかかる指導者資格の受講について複数名に働きかけたが、受講には至らなかった

令和 6 年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② 職場研修の充実			
	(ア) 全体研修の開催	(1). 開催回数 1 回 (2). 職員全員が共通認識し、スキルアップ、一体感の醸成、コミュニケーション、連携する意識の恒常を目指す (3). レベルにあった階層別研修の実施	(1). 「聴覚障がいへの理解」 (2). 現地参加 18 人 (3). ZOOM 9 人
	(イ) (再掲) 職員の自己啓発活動の支援 (補助金交付等)	(1). 第 3 次発展強化計画に規定する「職員育成推進 PT」において、本制度も含め職員育成の在り方を引き続き検討する (2). 利用促進のため年度当初に周知啓発に努める	(1). 会場利用支援 1 件 (2). 社会福祉実習にかかる指導者資格の受講について複数名に働きかけたが、受講には至らなかった
③ 専門職を目指す人材の育成			
	(ア) 社会福祉現場実習の受入	(1). 実習生を受け入れ、社会で活躍できる専門職を育成する (2). 2 人程度の実習生受入の実施 (3). 実習生受入を可能とするべく対象職員の研修受講依頼 (4). 実習生受け入れ体制 (事前申込制) の検討	(1). 受入なし (2). 受入実習手当に関する要領の再整備を行った
(3) 財務			
① 財源確保			
	(ア) 地域福祉基金の長期的安定運用	(1). 金融市場の動向に応じた満期前債券売却を可能とする規程の改正の実施 (2). 財務 PT において、地域福祉基金の運用方針の検討の実施	(1). 12 月開催の理事会で運用規程の改正及び入替方針の承認に基づき、地域福祉基金の入れ替えを実施 (2). 当年度利息収入 1 百万円増、次年度以降年 180 万円増、売却差益 44 百万円の収入あり。
② 会費制度への理解促進と会員の増強			
	(ア) 一般会費 (対象: 一般世帯)	(1). 自治会を通じて、広く市民に本会の目的の趣旨に賛同いただき、一般会員としての支援を得る (2). 自治会加入 1 世帯あたり 200 円 (3). 6 月自治連支部長会議にて協力依頼する	(1). 全市 24,284 世帯 総額 4,856,800 円
	(イ) 特別会費団体会費 (対象: 個人、事業者等)	(1). 本会の目的の趣旨にご賛同いただき、財政面で地域福祉活動に参加していただく (2). 前年度協力先に、前年度実績での協力を依頼 (特別会員: 1,000 円/口、団体会員: 15,000 円/口) (3). 財務強化 PT において、協力先の増強を検討する	(1). 特別会員 952,000 円 (2). 広報を見ての新規会員希望があった
(5) 職員の福利厚生			
① 職員の健康管理			
	(ア) 健康障害の防止を図るため職場衛生に関する事項の調査審議対策の樹立	(1). 衛生委員会の定期開催 毎月 1 回 参集による 委員任期の明確化等、職員衛生管理規程の見直しの実施	(1). 集会開催 4 回 (2). 議題に関する資料とするために職員へ向けたアンケート調査を実施した

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	(イ) 職員の健康増進及びメンタル不調未然防止の取り組み	(1). 職員健康診断及びストレスチェック制度の実施 (2). 補助制度周知による人間ドック受診推奨 (3). 前年度実績9人を上回ることを目標とする	(1). 受験者 人間ドック受検者を除く全職員 (2). 人間ドック補助 10人 (前年度比111%) (3). ストレスチェック 28人 (前年度比82%)
② 働きやすい職場環境の整備			
	(ア) 業務の合理化、効率化 ①事務局組織機構のあり方の検討 ②事務局組織機構の改革 ③職務権限規程の制定	(1). 月1回程度のペースで、主幹以上職員による検討の実施(令和6年12月開催理事会上程を目指す) (2). 必要に応じ、理事会開催時に協議の実施	(1). 検討未達
	(イ) 働きやすい職場づくり (1). 事業計画説明会の実施(1回) (2). 職員の健康と安全の確保に関する取組の検証(1回) (3). ワークライフバランスの取組みの検証(1回) (4). 個別面談の実施(2回) (5). サービス利用者等からの外部評価の導入	(1). 年1回、年度当初に開催事業計画の理解及び係間連携を目的に開催する (2). 衛生委員会の定期開催 (3). 4半期ごとに職員個別に有給休暇の取得状況の報告 (4). これまで同様、非常勤職員年3回、常勤職員年2回を目途に実施する (5). 介護保険事業サービス向上に向けたご利用者様アンケートの実施	(1). 切替時期に主査以上会議で報告 (2). 面談 非常勤3回 常勤2回
③ 組織基盤の強化			
	(ア) 生活福祉ニーズの把握分析と新たな取組みづくり ①ニーズ分析会議設置 ②新たな取組みの開発	(1). ニーズ分析会議を設置し、新たな取組みを1つスタートできるように検討する	(1). 検討未達
	(イ) 社会福祉法人組織としての体制整備 ①会長職のあり方に関する検討と方向性の決定	(1). 5-②-(ア)の3つの取組と併せて検討し、令和6年12月開催の理事会で方向性を上程 (2). 会長のみならず常務理事のあり方についても併せて方向性を決定	(1). 検討未達
	(ウ) 財務の強化 ①財務強化PTの設置	(1). ニーズ分析会議と連携して地域の福祉ニーズを充足する新たな取組みの検討 (2). その財源確保策の検討《予算への反映》 (3). 財源確保における先進社協等の取組みの分析《5か所程度を分析》	(1). 基金運用規定を改正 (2). 第4次発展強化計画策定の中で分析 1社協1団体
④ 計画の進捗管理			
	(ア) 計画の適切な推進の取組み	(1). 本計画(進捗状況を含む)および単年度事業計画を市民に公表(ホームページ、広報紙等)	(1). ホームページで公開、進捗状況は未達
⑤ 第4次発展強化計画の策定			
	(ア) 第4次発展強化計画の策定	(1). 職員プロジェクトチーム設置による計画の策定	(1). 検討14回 (2). 3月役員会で承認

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(6) その他の事業			
① 法外援護事業			
	(ア) 火災見舞金の支給	(1). 火災により損害を負った世帯の生活の立て直しの一助となるよう、CSWと協力し、迅速に見舞金を支給	(1). 支援回数 なし
	(イ) その他の法外援護	(1). 本会が住民のセーフティネット機能を果たしていくために、住民が不測かつ生命の危機に瀕する事態に対応	(1). 支援回数 なし
② 団体事務			
	(ア) 当事者団体の自立支援	(1). 飯能市身体障害者福祉会が、令和6年6月30日をもって解散の予定、そこに向けた各種事務支援	(1). 令和6年6月30日をもって解散管理している自動販売機の処遇を設置場所管理担当課と調整中
③ 補助金の交付			
	(ア) 地域福祉活動等推進事業補助金の交付	(1). 市民による地域福祉の向上を目的とした活動の奨励	(1). 補助 1件 (ボランティア団体)
	(イ) 社会福祉団体補助金の交付	(1). 市内において活動する社会福祉団体の活動の支援	(1). 補助 2団体
④ 危機管理体制の強化			
	(ア) BCPの策定	(1). 大規模災害、感染症等、組織運営が困難な状況を想定の上、事務事業継続計画の策定、事業所職員と定期的な情報共有の場の設置	(1). 検討未達
《施設管理係》			
(1) 身体障害者福祉センター			
① 相談支援の充実			
	相談内容に応じ、本会内及び関係機関と連携し、相談支援を実施	(1). 相談支援対応センター開所日に実施。実績把握のために、相談内容の記録作成	(1). 2件対応
② 機能回復のための各種訓練等			
	理学療法士の指導により、日常生活に必要な機能の回復及びその低下防止を目的に訓練を実施	(1). 理学療法士指導 月1回、参加者数毎月15人	(1). 毎月第3水曜日に実施 12回実施 延参加者94人
	音楽療法士の指導により、楽器や発声訓練を通じて日常生活に必要な機能の回復及びその低下防止を目的に実施	(1). 療育音楽教室 月1回、参加者数毎月6人	(1). 毎月第1、3月曜日に実施 18回実施 延参加者56人
	日常生活に必要な機能の回復及び低下防止を目的に理学療法士が利用者個別に作成したプログラムに基づき、看護師が指導	(1). 機能回復訓練 火曜日～金曜日、午前に実施 参加者数毎月20人	(1). 火曜日から金曜日の午前 に実施 149回実施 延参加者336人
	専門の講師による有酸素運動や筋トレ実施	(1). ヘビーハンズ教室 月1回、参加者数毎月8人	(1). 毎月第2、4木曜日実施 24回実施 延参加者79人
	障害者の日常生活に必要な外出行動の訓練及び参加者の交流	(1). 生活行動訓練 年1回、参加者数10人	(1). 開催日：11月26日 参加7人 外出先：サイボク 車両2台で送迎

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		地域活動支援センター利用者の送迎 (1). 送迎サービス 月曜日～金曜日 地域活動支援センター利用者を送迎	(1). 月から金に実施 送迎回数 647回 延参加者 1,080人
	③ 障害者スポーツレクリエーション活動及び創作的活動の普及		
	パラスポーツ等を共に楽しみ、障害者及びその家族との相互理解及び相互交流の深耕	(1). 福祉スポーツ大会 年1回、参加者数 200人	(1). 開催日 10月19日 延参加者 185人 (前年度比 165%) 指導ボランティア協力 22人
	パラスポーツの普及及び指導者の育成	(1). パラスポーツ体験会 年1回、参加者数 20人	(1). 開催日 3月15日 延参加者 37人 ボランティア人数 13人
	パラスポーツ「ボッチャ」の普及及び参加者の相互親睦の深耕	(1). パラスポーツ教室 月1回、参加者数毎月15人	(1). 毎月第3日曜日に実施中 11回実施 延参加者 133人
	創作活動による社会参加の機会の提供及び参加者家族の交流の促進	(1). 障害児者造形教室 毎月2回、参加者数毎回6人	(1). 毎月第2土曜日に実施 11回実施 延参加者 61人
	創作活動による社会参加の機会の提供	(1). 書道教室 毎月2回、参加者数毎回6人	(1). 毎月第1、3木曜日実施 20回実施 延参加者 74人
	機能訓練の一環としてグラウンドゴルフを実施	(1). レクリエーション教室 月2回、参加者数5人 夏期、冬期は実施なし	(1). 毎月第2、4月曜日実施 11回実施 延参加者 13人 ※夏期、冬期は実施なし
	④ ボランティアの養成及びボランティア活動の支援		
	手話奉仕員や通訳者に繋がる第一歩の講座として、聴覚障害や手話の基本の理解の深耕	(1). 手話奉仕員養成講座入門課程 厚生労働省で定めるカリキュラムにより開催 年1回(昼18回) 参加者数 15人	(1). 開催日 5月8日～9月11日の毎週水曜日(8月14日は休み) 全18回 参加者 21人中 19人修了 延参加者 340 (前年度比 180%)
	入門課程の修了者等を対象にさらなる技術、知識の向上を図り、手話奉仕員や通訳者の育成の推進	(1). 手話奉仕員養成講座基礎課程 厚生労働省で定めるカリキュラムによる開催 入門課程修了者対象 年1回(昼23回) 参加者数 15人	(1). 開催日 10月22日～3月5日の毎週水曜日(12月25日、1月1日は休み) 全21回 参加者 19人 延参加者数 342人 (前年度比 131%)
	基礎課程の修了者を対象に、さらなる上のレベルを目指す方を対象に実施	(1). 手話奉仕員養成講座基礎上級課程 県の手話通訳者養成準備コースの合格に向けた講座 基礎課程修了者対象 年1回(夜23回) 参加者数 15人	(1). 「手話レベルアップ講座」を実施 開催日 9月6日～1月31日の毎週金曜日(夜間) (12月27日、1月3日は休み) 全20回 参加者 7人 延参加者 120人 (前年度未計画)

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)	
		手話人口の裾野を広げる	(1). 手話体験 手話に興味がある方及び初めて手話に触れる方を対象に開催 年2回(5回コース)参加者数各20人	(1). 開催日 3月7日～3月21日の毎週金曜日(夜間) 全3回 参加者17人 延参加者43人(前年度比132%)
		視覚障害や点訳の理解及び点訳ボランティアの育成	(1). 点訳ボランティアはじめの一步講座 年1回(5回コース)参加者数10人	(1). 開催日 11月15日～12月13日の毎週金曜日(夜間) 全5回 参加者4人 延参加者17人(前年度同)
⑤ 交流事業の推進				
		(再掲) パラスポーツ等の実施により、市民参加による障害者及びその家族との相互理解及び相互交流の深耕	(1). 福祉スポーツ大会 年1回、参加者数200人	(1). 開催日 10月19日 延参加者185人(前年度比165%) 指導ボランティア協力22人
⑥ 啓発の充実				
		(再掲) パラスポーツ「ボッチャ」の普及及び競技指導者の育成	(1). パラスポーツ体験会 年1回、参加者数20人	(1). 開催日 3月15日 延参加者37人 ボランティア人数 13人
⑦ 障害に配慮したきめ細やかな対応				
		聴覚障害者来館時のコミュニケーションツールとして設置	(1). 聴覚障害者窓口総合支援のための遠隔手話タブレット端末設置 年間利用20件	(1). 利用者数 1人(前年度比33%)
		けが、病気等により一時的に車いすが必要な方に最大3か月間貸与	(1). 車いす無料貸与事業 貸与にあたり、点検整備を常時実施	(1). 延利用者120人(前年度比129%)
(2) 老人福祉センター				
① 生活、健康等の相談及び見守り				
		専門の講師から健康維持、向上に役立つ講義及び実践を学び、運動機能の低下防止と生活の質の維持向上を図る	(1). 腰痛ひざ痛の予防講座 年1回、参加者数30人	(1). 『ウォーキング講座「歩くために必要な“10”の秘訣」』を実施 開催日 10月23日 全1回 延参加者22人(前年度比110%)
			(2). ノルディックウォーク体験講座 年1回、参加者数各20人	(2). 開催日 11月27日 全1回 延参加者11人(前年度比79%)
			(3). ボクササイズ 1回実施 参加者 20人	(3). 『シニアフィットネスボクシング講座』を実施 開催日 7月4日 全1回 延参加者29人(新規のため前年度比なし)
			(4). 未掲載	(4). 『笑いヨガ教室』を実施 開催日 9月3日、9月17日 全2回 延参加者数39人(前年度比87%)

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
② 教養の向上及びレクリエーション			
	専門の指導者による、様々なことを楽しみながら学ぶ機会の提供 講座参加による社会参加、教養の向上、介護予防、仲間づくりを目指す	(1). 終活講座 年1回、参加者数20人	(1). 開催日 7月9日、7月16日 全2回 延参加者29人(前年度比58%)
		(2). スマートフォン活用講座 年1回、参加者数20人	(2). 開催日 2月4日 午前と午後の計2回 延参加者者32人(前年度比132%)
		(3). 麻雀教室 3回実施 参加者 20人	(3). 11月~1月の隔週火曜日 全5回 延べ参加者54人
		(4). そろばん教室 3回実施 参加者 20人	(4). 開催日 1月22日、1月29日、2月5日 全3回 延参加者26人(新規)
③ 生きがいづくり活動の支援			
	館内活動団体の作品の展示の場の提供による活動意欲の向上及び生きがいづくりへの寄与	(1). 創作品展 福祉センターで活動しているグループの作品を定期的にロビーに展示	(1). 出展回数 11回 延べ作品数561点
	参加者相互に、スマートフォンの操作等について教え合いながら、交流の深耕を図る	(1). スマホわいがやサロン支援 ソフトバンク講師の定期的な参加を継続させて、皆様のモチベーションを維持しながら、居場所としての機能を強化していく	(1). 月曜日に月に1、2回実施 19回実施 延参加者124人
	講座で身に着けた知識、技術をボランティアに活かせるよう導き、新たな生きがい発見に繋げる	(1). ガーデニング講座 2回実施 修了者は福祉センターのガーデニングボランティアの活動へと導く	(1). 開催日 10月29日 全1回 延参加者19人(新規)
	居場所としての機能を強化	(1). 居場所機能強化 カラオケ、囲碁将棋の来館者増加 カーレットやモルック等可能性のある取り組みの検討 eスポーツ等新たな取り組みの検討	(1). カラオケ 月~金曜日実施 209回実施 延参加者1,845人 囲碁将棋 毎日実施 331回
④ 地域高齢者リーダーの育成			
	センター利用団体の発表の機会の創出及び自主性の推進	(1). 総合福祉センター発表会2024 実施にあたり可能な限り自主運営となるよう、利用者のリーダーシップを促進	(1). 開催日 11月22日 全1回 11団体出演 延参加者161人(前年度比146%)
(3) 児童センター			
① 遊びの提供			
	児童の誰もが気軽に利用でき、楽しく魅力ある児童センターになるよう集団的、個別的な遊びを提供	(1). 工作ひろば：年間参加者960人以上 開館中毎日実施 (2). 小学生タイム：小学生対象、年間参加者84人以上 毎月1回実施(8月除く)	(1). 245回実施 延参加者1,887人 (2). 10回実施 延参加者168人

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		誰もが安心して利用できるような場とするための利用ルールの周知	(1). 児童センター〇×クイズ 4月実施 (1). 17回実施 延参加者 114人
		親しみやすい場としてリーダーの獲得	(1). なぞなぞ：6月実施 (2). ハロウィンウィーク：10月実施 (3). 脳トレゲーム：12月実施 (4). れんそうゲーム：2月実施 (5). イースターエッグをさがそう：3月実施 季節に合わせて2週間程度実施 (1). 21回実施延参加者 228人 (2). 20回実施 延参加者 252人 (3). 14回実施 延参加者 91人 (4). 14回実施 延参加者 54人 (5). 13回実施 延参加者 185人
② 健康の増進			
		児童の発達段階や運動能力に配慮し、健康の増進につなげる	(1). キッズたいそう：3歳児対象、2期（各期2回）、参加者各15組 複数回の講座として実施 (2). トコトコキッズたいそう：2歳児対象、2期（各期2回）、参加者数各15組 (1). 4回実施 延参加者 53人 (2). 4回実施 延参加者 44人
		運動遊びを通じた児童の交流	(1). かんたん！スポーツテスト！：月1回（8月除く）実施、小学生以上対象 毎月1回実施(8月除く) (1). 12回実施 延参加者 81人
③ 豊かな情操の育み			
		四季折々の行事や、芸術的活動等様々な遊びの体験を通じ、情操豊かな児童を育てる	(1). おはなしタイム 年1回実施 開館中随時実施 (2). こどもハイキング：小学生対象、参加者数12人 11月実施 (3). 新春お正月遊び：2回程度実施 (1). 8回実施 延参加者 73人 (2). 計画し募集したが申込み無し (3). 2回実施 延参加者 37人

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	創作活動や日本の伝統文化に触れることによる豊かな心の醸成	<p>小学校休業期間中に実施</p> <p>(1). こども習字教室：夏1回、参加者数16人</p> <p>(2). 夏休み将棋教室：夏1回（3日間）、参加者数16人</p> <p>(3). 絵画教室：夏1回、参加者数16人</p> <p>(4). 陶芸教室：夏2回、参加者数16人</p> <p>(5). 夏休み親子木工教室：夏1回、参加者数10組</p> <p>(6). こども書初め教室：冬1回、参加者数15人</p> <p>(7). サイエンスクラブ：春1回、参加者数各16人</p>	<p>(1). 1回実施 参加者7人</p> <p>(2). 3回実施 延参加者50人</p> <p>(3). 1回実施 参加者16人</p> <p>(4). 2回実施 参加者41人</p> <p>(5). 1回実施 参加者27人</p> <p>(6). 1回実施 参加者15人</p> <p>(7). 1回実施 13人参加</p>
④ 子育て家庭の支援			
	子育て家庭の孤立化を防ぐため、乳幼児とその保護者向けの事業や相談事業を実施	<p>(1). おすわりフォト：月3回程度、参加者数各5組</p> <p>(2). げんきっず：月1回（8月除く）、参加者数各5組、遊戯室や屋上で運動遊び等実施</p>	<p>(1). 30回実施 参加者582人</p> <p>(2). 10回実施 延参加者77人</p>
	発達に応じた遊びの提供による発達の促しおよび親子での様々な経験による親子の愛着形成の促進	<p>(1). 3さいひろば：1期（8回）、参加者数15組</p> <p>(2). 2さいひろば：2期（各期3回）、参加者数各15組</p> <p>(3). 1さいひろば：2期（各期2回）、参加者数各15組</p> <p>(4). 0さいひろば：3期（各期2回）、参加者数各8組</p> <p>複数回の講座として、0歳～2歳は月齢が近くなるよう対象を定めて実施</p>	<p>(1). 8回実施 延参加者138人</p> <p>(2). 6回実施 延参加者53人</p> <p>(3). 4回実施 延参加者74人</p> <p>(4). 6回実施 延参加者61人</p>

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
⑤ 地域との連携、市民との協働			
	各種の地域団体などと連携し、ボランティアや市民との協働を重視した地域に根ざした事業を実施	<ul style="list-style-type: none"> (1). おもちゃの病院：偶数月（年6回）実施、受入れおもちゃ各15個飯能市おもちゃの病院、入間市おもちゃの病院との協働開催 (2). 遊びのたんけん隊：年2回実施、参加者数各16人 (3). みんなの自習室：年4回実施、参加者数各10人、市内ボランティアと協働 (4). 児童センターボランティア体験：中学生以上対象、中学生以上のボランティアと協働 	<ul style="list-style-type: none"> (1). 6回実施 延参加者136人 (2). 2回実施 参加者53人 (3). 4回実施 参加者30人 (4). 16回実施 参加者20人
	日本伝統文化を継続的に学ぶことによる集中力や思考力の醸成を図る	(1). こども将棋クラブ：5～3月実施、参加者数20人 飯能市将棋連盟に指導を依頼	(1). 17回実施 延参加者210人
	科学実験の体験による、科学への興味の促しを図る	(1). ミニサイエンスクラブ：ボランティアと調整して実施 市内ボランティアに指導を依頼	(1). 4回実施 延参加者70人
	ボランティアグループによる読み聞かせや歌遊びなどの公演で利用者に楽しんでいただく	(1). 遊びのひろば「かざぐるま」：年1回、参加者数10人以上	(1). 1回実施 参加者25人
⑥ 児童の居場所の提供			
	児童及び中高生の身近で安全な居場所を提供するとともに、自律・自立する力を育む事業を展開し、自発的な活動を尊重することあわせて、必要に応じて関係機関と連携し支援すること	<ul style="list-style-type: none"> (1). ハッピーバースデー：開館中随時実施 小学生以上対象 (2). イベントスタッフ：通年実施、参加者10人、中学生以上対象 (3). スタディルーム：試験期間等に中学生以上の利用者専用の学習室を設ける、不定期実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1). 65回実施 延参加者301人 (2). 21回実施 延参加者73人 (3). 33回実施 延参加者110人
	児童と協力してイベントを企画実施する	<ul style="list-style-type: none"> (1). イベスタゲーム大会：夏春各1回、参加者各15人以上 (2). わくわくクリスマスパーティー：年1回（12月）、参加者20人以上 	<ul style="list-style-type: none"> (1). 1回実施 参加者32人 (2). 1回実施 参加者36人

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
(4) 美杉台児童館			
① 遊びの提供			
	コミュニケーション能力、想像力を高められるよう、季節感のあるイベントや遊び、造形活動を提供	(1). みんなであそぼう 不定期 実施時10人以上 ハロウィンウィークを統合し、こどもが主体的に企画運営できるよう児童館ボランティアを育成する	(1). 34回実施 延参加者338人 季節感を大切にした工作や、運動遊び、ゲーム等様々な遊びを展開
	親子で参加できる様々な体験や普段交流のない大人とのふれあいの機会の提供障害者理解の促進	(1). おやこプラススポーツ体験教室 2回、参加者数各20人 おやこで楽しめるだけでなく、地域の大人（高齢者や 障害者など）とのふれあい交流を図る こどもが参加しやすい終業式前日午後等に開催	(1). 1回実施 延参加者14人 フライングディスク 障がいのある方の参加があり、その方が活躍できるよう他の参加者がサポートする姿があり、生きた“福祉教育”の場となった
	自然科学の体験を通して、身近な自然現象への興味関心を図る	(1). 科学遊び 夏冬期：各1回、参加者数：各10人 小学生を対象に身近な自然現象をテーマにした遊び 小学生が参加しやすい終業式等の午後に開催	(1). 2回実施 延参加者17人 物には温度がある（夏） 空気とあそぼう（冬）
	考える楽しさや達成感、知的好奇心の増進を図る	(1). クイズにチャレンジ 月毎にテーマを変えて通年実施 こどもが主体的に企画運営できるよう児童館ボランティアを育成する	(1). 56回実施 延参加者1,038人 毎回クラブ室の子が喜んで参加してくれている 来館の子も開催していれば参加してくれる 色々なジャンルのクイズを出している
② 健康の増進			
	親子の絆の深耕と心身の健康のため、ヨガインストラクター指導による、ベビーマッサージ及びヨガの実施パパ参加も可能とする	(1). 親子でリラックスタイム 年6回、参加者各8組 パパ参加も可能な土曜日に開催	(1). 6回実施 延参加者41人 参加者から好評であるが申し込みが少ない
	器具等を使用した運動遊びを通して、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る	(1). 3B体操 年6回、参加者10組 (2). 親子リズム体操 年6回、参加者10組	(1). 1月より実施 4回実施 延参加者74人 (2). 6回実施 延参加者63人 申し込みが少なく尚且つ後半は幼稚園入園者もあり少人数での実施となってしまった

令和6年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	(3). ちびっこ体操 年6回、参加者10組	(3). 6回実施 延参加者62人 申し込みは定員に満たなかったが色々な運動遊具を用いた遊びの経験ができ、音楽やダンスも盛り込まれ楽しい雰囲気であった
	(4). わくわく体操 通年不定期	(4). 8回実施 延参加者41人
	③ 豊かな情操の育み	
	小中学校休業期間中に実施 創作活動や文化イベントに触れることにより心の豊かさを醸成する	(1). 誰でも描ける水彩画 夏1回、参加者数10人 (2). 陶芸教室 夏3回、参加者数各16人 (3). レザークラフト教室 夏1回、参加者数16人 (4). スイーツデコ 夏1回、参加者数16人 (5). ペーパークラフト(小学生) (6). ペーパークラフト(中学生)
		(1). 1回実施 延参加者11人 (2). 3回実施 延参加者52人 (3). 1回 延参加者23人 (4). 1回 延参加者16人 (5). 1回実施 延参加者9人 (6). 中学生の申込がなかったため小学生を対象として実施 1回実施 延参加者3人
	学校休業期間中に、学習支援ボランティアの協力により実施 創作活動や日本の伝統文化に触れることにより心の豊かさを醸成する	(1). 浴衣の着付け体験 夏1回、参加者数6人 (2). 茶道体験 夏1回、参加者数6人 (3). ソロバン教室 夏1回、参加者数16人
		(1). 1回実施 延参加者4人 (2). 1回実施 延参加者3人 (3). 1回実施 延参加者9人
	学校休業期間中に、職員により実施 リピーター獲得を目的に、日常で体験できない活動を提供	(1). 大型折り紙 夏1回、参加者数20人 (2). アクアビーズ 夏1回、参加者数16人 (3). 千代紙あわせ
		(1). 3回実施 延参加者14人 (2). 2回実施 延参加者30人 (3). 1回実施 延参加者9人
	音楽を通しての遊びにより、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る	(1). リトミック 年6回、参加者10組
		(1). 6回実施 延参加者85人
	④ 子育て家庭の支援	
	発達に応じた遊びの提供による発達の促し 親子での様々な経験による親子の愛着形成の促進	(1). ベビータイム(3回)、参加者数各6組
		(1). 5回実施 延参加者23人 前期、後期に各3回ずつを予定していたが参加者がおらず、後期の1回が中止となった

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		(2). 2さいクラブ1期(6回)、参加者数10組	(2). 6回 延参加者124人 申し込みが多かったので定員以上の人数で開催した
		(3). 3さいクラブ1期(6回)、参加者数10組	(3). 6回実施 延参加者90人 毎回楽しい活動で喜んでいただけた
	未就園児の居場所として、親子間及び保護者同士の交流を図る	(1). メイプルルーム 毎月1回、参加者数10組 中高生世代との交流も可能な日程として夏休み時期の実施を検討	(1). 11回実施 延参加者196人 自由遊びの他、工作などを取り入れている 夏休み期間に小学生も対象のメイプルスペシャル開催
	音楽や体操を通じて、親子のふれあいや心身の健康増進と共に親子の愛着の深耕を図る	(1). ハッピータイム 4回、参加者10組 パパが参加しやすい土曜日の開催を講師と検討	(1). 4回実施 延参加者47人 あえて土曜日開催としたが参加者は少なかった 当日の来館者に声をかけ集めて実施
⑤ 地域との連携、市民との協働			
	地域のボランティアによる活動の提供とボランティア活動の育成、活性化	(1). おはなしの会「くれよん」 幼児親子向け読み聞かせ 月1回、参加者数各6組	(1). 11回実施 延参加者150人 参加人数が少ない回が多い ボランティアはチラシを作成配布するなど意欲的に頑張っている
		(2). おもちゃの病院おもちゃドクター (ボランティア)による、壊れたおもちゃの修理 奇数月、受入れおもちゃ各15個	(2). 6回実施 延参加者85人 ドクターが飯能市おもちゃ病院としてグループ化された
		(3). おもちゃドクター養成講座おもちゃの病院で活躍していただく「おもちゃドクター」の養成 参加者数5人	(3). 2回実施 延参加者16人 参加者のうち、2人はおもちゃドクターボランティアとして活動を希望 3人は今は希望しないが、時期を見て参加の見込みあり
		(4). こども将棋クラブ 日本伝統文化を継続的に学ぶことによる集中力や思考力の醸成を図る 通年実施、参加者数10人	(4). 18回実施 延参加者116人 ボランティアがいなければ成り立たない事業でありながら、謝礼無し、通

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
			年定期開催している
		(5). おはなしグランマ 小学生を対象にした読み聞かせ 月1回、参加者数各5人	(5). 10回実施 延参加者67人 来館者にも声をかけるが 参加者があまりおらず、 ほぼクラブ室の児童が参加
		(6). 子ども卓球クラブ3年生以上の小学生 を対象にした地域のボランティア による卓球指導 毎月2回、参加者数各10人	(6). 14回実施 延参加者139人
	小中学校や高校の依頼による、社会体験事業 学校の依頼により随時対応	(1). 児童館体験事業	(1). 1回実施 延参加者37人 1月に飯能高校生徒による エプロンシアターの発表 を実施 観覧は親子6組
⑥ 児童の居場所の提供			
	小中学生の自主学習の場所を 提供し、遊びだけではない居 場所となるよう実施	(1). スタディルーム 随時対応	(1). 91回実施 延参加者245人 小学生は宿題をするほか 絵を描くなど自由な作業 に取り組んでいる 中学生は中間、期末テスト の時に利用
	児童館ボランティアにより主 体的に児童館事業に参加して 企画運営を体験することで自己 肯定感を高める	(1). 児童館ボランティア 体験の機会を提供 小学4年生以上によるボラン ティアサークルにより継続的に活動 随時受け入れ	(1). 11回実施 延参加者18人 彩の国ボランティア体験 プログラム事業で募集 夏休み事業の中でお兄さん、 お姉さんとして積極的に参加し活躍してくれ た
	地域の新小学1年生を対象に 施設の利用方法の周知を目的 に実施	(1). ようこそ1年生 児童館は小学生から児童だけで来館 できるため、地元の美杉台小学校の 新1年生を対象に児童館を知って もらうことをねらいにしている	(1). 4回実施 延参加者139人 小学生に幅広く知ってもら うことを目的に1年 生全ての児童を対象とし た
(5) 共催事業			
① 総合福祉センター内共催			
	イベントを通じて高齢者、障 がい者、児童の交流を図る	(1). 交流七夕飾り 旧七夕の時期に実施 障害者、高齢者、児童対象	(1). 1回実施 参加者30人参加
		(2). 交流モルック体験 障害者、高齢者、児童対象	(2). 「やさしいダンス交流体 験会」を実施 開催日 3月24日(月) 延参加者数20人(新規の ため前年度比なし)
② 児童センター児童館共催			
	地域に出向き、普段来館が難	(1). 出前児童館	(1). 2回実施

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	しい方に向け、児童館事業を提供する児童館のPRも目的とする	小学校を中心に実施予定	延参加者103人 小学校、市民活動センターにおいて1回ずつ実施
	③ 他機関共催		
	学校教員経験者（ボランティア）の支援と関係構築	(1). みんなの自習室 夏休み（地区行政センターと共催）	(2). 6回87人 教員経験者が指導するため安心感があり、集中できると好評
	親子で参加できる様々な体験や普段交流のない大人とのふれあいの機会の提供障害者理解の促進	(1). およこパラスポーツ体験教室 2回、参加者数各20人 およこで楽しめるだけでなく、地域の大人（高齢者や障害者など）とのふれあい交流を図る こどもが参加しやすい終業式前日午後等に開催	(1). 1回実施 延参加者21人 ポッチャ こどもから高齢者までの参加があった
(6) その他の取組み			
	① 施設の管理、運営及び日常の危機管理		
	施設利用者参加による消防訓練の実施	(1). 避難誘導訓練、消火訓練などの実施（総合福祉センター美杉台児童館ともに年2回）	(1). 美杉台複合施設3館合同で8月、12月に実施 総合福祉センター1月と3月に実施
	② 居場所機能の強化		
	居場所としての機能を強化	(1). 居場所機能強化 カラオケ、囲碁将棋の来館者増加 カーレットやモルック等可能性のある取り組みの検討 世代間交流の促進による居場所機能強化 eスポーツ等新たな取り組みの検討	(1). カラオケ 月～金 13～15 囲碁将棋 毎日 13～17
【地域福祉部門】			
≪地域福祉推進係≫			
(1) はんのうふくしの森プラン推進事業			
	① 第4次はんのうふくしの森プランの推進		
	(ア) 地域福祉活動計画推進委員会の開催	(1). 開催回数 2回/年（6月、未定） (2). 協議事項 第3次はんのうふくしの森プランの総括 (3). 第4次はんのうふくしの森プランの進行管理	(1). 開催日 6月28日、1月20日（2回） (2). 委員構成（15人/学識経験者、知識経験者） (3). 【主な協議事項】令和5年度はんのうふくしの森プラン実績報告及び令和6年度実施計画 第4次はんのうふくしの森プラン事業実施状況について
	(イ) はんのうふくしの森プラン推進市民会議の運営	(1). はんのうふくしの森プラン推進市民会議の開催 (2). 開催回数 6回（偶数月） (3). 開催方法 主にオンライン	(1). 開催日 偶数月 最終水曜日（5回）※12月は感染症拡大に伴い中止 (2). 学びの場の開催

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		(4). 検討事項 市民会議“学びの場”の企画、運営 (5). 継続して参加できる市民を増やす (6). メンバー間の交流の機会を増やすことで、市民主体で会議を運営していく機運を醸成する 第1層協議体等との関連する会議体との合同開催の検討 (7). はんのうふくしの森推進市民会議“学びの場”の開催 (8). 開催回数 2回/年(時期未定) (9). 内容 上記市民会議にて検討されたテーマに関する学びの機会を創出する	(3). ①外国人支援 参加者(10人) (4). ②こどもの居場所づくり参加者(33人) (5). ※いずれも集合、オンライン併用による開催
	(ウ) 飯能市地域福祉活動計画プロジェクトチームの開催	(1). 出席者 地域共生PTメンバー 協議事項 第4次はんのうふくしの森プランの具体化について (2). 本会における重層的支援体制整備事業への取組方針について (3). 第4次はんのうふくしの森プランの推進にあたり、プロジェクトチームの役割の見直しを図る	(1). 第4次はんのうふくしの森プランの啓発に関して検討実施した (2). 重層的支援体制整備事業の実施に向けた研究を進めた (3). 検討内容について随時職員へ情報共有を図った
	(エ) 飯能市との定期的な協議の場の設置	(1). 出席者 地域共生PT (2). 飯能市(地域生活福祉課) (3). 協議事項 はんのうふくしの森プランに関する本市における重層的支援体制整備事業における市と本会の役割について	(1). 第4次はんのうふくしの森プラン推進に関する協議 (2). 重層的支援体制整備事業の実施に向けた協議(10回) (3). 飯能市地域福祉計画庁内作業部会に出席(6回)
	(オ) 圏域別ふくしの森活動計画の推進	(1). ふくしを話し合う会等(第2層協議体)圏域ごとの協議の場 (2). 開催頻度 各圏域年2回以上開催 協議事項 圏域別ふくしの森活動計画の進行 管理及び具体化のための検討 (3). 圏域別ふくしの森活動計画の周知 (4). 圏域別ふくしの森活動計画の作成及び配(全戸) (5). 各圏域の進捗状況の共有を図るため、四半期に1回、地域共生PTとCSW(SC)の連絡会を開催	(1). 一部圏域では話し合いの場の開催に至らなかった (2). 一部圏域で圏域別計画のパンフレットを作成し、全戸配布または回覧などで周知した (3). 作成地区:飯能中央、第二区、南高麗、東吾野、原市場、名栗 (4). ふくしの森STだよりに情報を掲載し、進捗共有を行った (5). 第1層協議体にて全地区の進捗を報告した(6回) (6). 地域共生PTとの連絡会は不実施
	② はんのうふくしの森プランに基づく事業の推進		
	(ア) ふくしの森サポーターの養成及び普及	(1). はんのうふくしの森みらいカレッジ(ふくしの森リーダー養成研修) (2). 開催回数 2回/年(8,10月)	(1). はんのうふくしの森みらいカレッジ(ふくしの森リーダー養成研修)in美杉

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)	
		(3). 対象 本市在住、在勤、在学の方各20人 (4). 内容 ふくしの森リーダーの活動について (5). ファシリテーションの基礎 (6). 福祉専門職とのつながり方のワークショップ (7). その他 地域出張型の開催の場合あり (8). ふくしの森市民会議メンバーの意見を取り入れ、また参画を得た事業の実施 (9). 第4次プラン期間中に150人のふくしの森リーダー養成を目標として開催	台 (2). 開催日 8月19日、28日、30日(3日間) (3). 参加者数 14人 (4). 修了者数 4人 リーダー登録者数(新規1人/通算26人) (5). ※2回目については、十分な参加者を確保できず中止	
	(イ)	はんのうふくしの森プランの周知	(1). 第4次はんのうふくしの森プラン概要版の作成及び配布 (2). 発行部数 500部 (3). ふくしの森プランクリアファイルの配布 (4). 第4次はんのうふくしの森プラン(本編概要版)のホームページへの掲出 (5). LINE、Facebook、インスタグラムを活用したプランや取組状況の周知	(1). 第4次はんのうふくしの森プラン概要版の配布 随時 (2). ふくしの森プランクリアファイルを配布 随時 (3). ツーデーマーチ等のイベントへの参加 (4). はんのうふくしの森活動者交流会における周知
	(ウ)	地域における公益的な取組の推進	(1). 社会福祉法人地域公益活動等連絡会の支援及び参加 (2). 定期総会の開催 1回(7月) (3). 幹事会の開催 5回(6、9、11、12、3月) (4). 災害時の連携、移動支援の取組、募金箱設置等新規の取組についての検討及び実行	(1). 定期総会の開催:7月11日(1回) (2). 幹事会の開催:6月7日、7月11日、9月6日、11月8日、2月7日、3月7日(6回) (3). 市職員や学生に向けて法人間で連携した福祉学習を実施した:4月14日、6月20日(2回) (4). あったか♡バンク飯能の開催:3月1日(1回) (5). あったか♡バンクの見直し、今後の新事業の実施に向け、あしかりDEマルシェの視察を実施
(2)	コミュニティソーシャルワーク事業			
①	コミュニティソーシャルワーク機能の強化			
	(ア)	コミュニティソーシャルワーカーの充実	(1). CSWの体制強化 (2). CSW配置計画に基づく市との協議	(1). CSWの体制は1人分を非常勤職員から常勤職員に

令和6年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)	
		<ul style="list-style-type: none"> (3). 重層的支援体制整備事業におけるCSWの役割の明確化 (4). CSWの資質向上 (5). コミュニティソーシャルワーカー実践者養成研修の受講 (STEP1 /STEP2) (6). コミュニティコーピング認定ファシリテーターの養成 (7). 係内事例検討会の実施 (8). コミュニティソーシャルワーク勉強会の開催 (1回/月) 	<ul style="list-style-type: none"> 変更し体制を強化 (2). ボランティアセンター業務を移管することで、連携を強化 (3). CSW活動状況 (4). 資料編参照 (5). CSW相談対応件数 313件 (前年比68.2%) (6). CSW実践者養成研修STEP2を受講 (1人) (7). コミュニティコーピング認定ファシリテーター養成講座を受講 (4人) (8). 事例検討を適宜実施 (9). コミュニティソーシャルワーク勉強会を開催 (10).開催日 4/23、5/14、5/28 (3回)
	(イ) ふくしの森ステーション機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> (1). ふくしの森ステーションの運営 (7カ所) (2). ふくしの森ステーション増設に向けた協議 (3). ふくしの森ステーションの役割の明確化 (4). CSW配置計画に基づく市との協議 	<ul style="list-style-type: none"> (1). ふくしの森ステーションを運営 (7カ所) (2). 車いすちょい貸し事業 (3). 貸出: 31件 (4). ふくしの森ステーションの増設に向けた協議には至らなかった
	(ウ) コミュニティソーシャルワーカー及びふくしの森ステーションの周知	<ul style="list-style-type: none"> (1). 「ふくしの森ステーションだより」の定期発行 (2). 各ST奇数月発行 (全戸もしくは回覧) ※なぐりSTのみ毎月発行 (3). CSWの活動状況をSNSで周知 (4). ふくしの森プランクリアファイルの配布 (5). SNSでの情報発信において、全市的な情報に限らず、小地域に焦点を当てた情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> (1). ふくしの森ステーションだよりを発行 (2). 奇数月 (年6回) ※ふくしの森ステーションなぐりのみ毎月 (年12回) (3). ふくしの森プランクリアファイルを配布 (4). 第4次プランの周知に合わせ、CSWの周知を図った (5). CSW実績報告書を作成に向けて準備を進めた
	(エ) 相談支援機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> (1). 地域包括支援センター、すこやか福祉相談センター等との連携及び情報共有を目的とした「地域連携会議」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> (1). 第4次プランに位置づけた地域連携会議の開催 (2). 実施地区: 飯能中央、南高麗、吾野、東吾野、原

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		(2). 重層的支援体制整備事業における地域連携会議の位置づけの明確化 (3). ひきこもり相談に関する研修会の開催 2回/年(共催:飯能市(地域生活福祉課、保健センター)) (4). 対象 ひきこもり相談に関する相談支援機関の職員 (5). 重層的支援体制整備事業における包括的相談支援体制整備事業を想定した内容での実施 (6). 福祉なんでも相談会の実施 (7). 実施圏域 吾野、東吾野 (8). 新規予定 第二区、原市場 (9). 検討 南高麗	市場、名栗 (3). ひきこもり支援者連絡会議に参加(1回) (4). 多機関協働推進のための研修会に協力(1回) (5). 福祉のなんでも相談会を実施 (6). ※地域包括支援センター、すこやか福祉相談センター、保健センター等と協働実施 (7). 実施圏域:第二区、吾野、東吾野、原市場 (8). 参加者数:188人 (9). 飯能市地域支援ネットワーク連絡会への加入及び参加(更生保護関係)
② 地域福祉推進組織の支援			
	(ア) 地域福祉推進組織の活動支援	(1). ふくしの地域づくり事業補助金による財政支援 CSW による運営支援 (2). その他先進事例、助成金等の情報提供 圏域別ふくしの森活動計画を、各団体が主体的に推進するよう支援を実施	(1). 双柳で組織の立ち上げを支援 (2). CSW による技術的支援 (3). 会議開催の支援、新規活動の立ち上げ支援、イベントや研修会等の開催支援、補助金申請等各種手続きに係る支援、その他各種連絡調整など補助金交付(7組織)
	(イ) 地域福祉推進組織交流会の開催	(1). 地域福祉推進組織交流会の開催 (2). 開催回数 2回/年(7、1月) (3). 概要 各組織代表者などによる情報交換 (4). 圏域別ふくしの森活動計画の推進に係る情報交換などを予定	(1). 第1回/10月11日 参加者94人 (2). はんのうふくしの森活動者交流会として、支え合い活動団体、ボランティアセンター登録団体個人と合同開催 (3). 第2回/3月12日 参加者18人
(3) 小地域福祉活動推進事業			
① 静かな見守り活動の推進			
	(ア) 静かな見守り活動の実施(各地区民生委員児童委員協議会共催)	(1). 静かな見守り活動の実施 (2). 対象 主に70歳以上の一人暮らしの方 (3). 概要 見守り協力員、担当民生委員及び本会が連携し、安否確認等の見守りを行う (4). 見守り啓発品の配布 (5). 見守り協力員と担当民生委員の情報共有の機会創出を目的に啓発品を年2回配布する CSW が各地区民児協定例会等に出席し、連携強化を図る (6). 今後の事業の在り方を検討するため、民生委員から意見を聴取する	(1). 地区会長会(6月、12月)、地区定例会(9月)にて事業説明や事業啓発品の配布に関するヒアリングなどを実施 (2). 見守り対象者リスト掲載件数:466件(1月末時点) (3). 助成金交付 1地区:8,000円 見守り協力員に対する事業啓発品の配布 (4). 年2回、計587個
② 地域の居場所づくりの推進			
	(ア) ふれあいいきいきサロンの開催支援	(1). ふれあいいきいきサロン事業補助金の交付 (2). 対象 事業登録団体 約20団体	(1). 登録団体総数(18団体/新規登録5団体) (2). 延参加者3,299人(前年度)

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		(3). 補助金額 活動状況に応じ変動、最大10万円/年 (4). 地区担当CSWによる運営支援及び情報提供 (5). SNS等による活動状況の情報発信を強化する (6). ボランティアセンターと連携し、活動者募集の情報を発信する	比103%) (3). 補助金交付額710,000円 (4). CSWが各地区のサロンに参加し、運営状況の把握及び適宜助言 (5). SNSによる情報発信は不実施 (6). ボランティアセンターとの連携は不実施
	(イ) 地域型ふれあい食事会の開催支援	(1). 地域福祉推進事業費の交付 (2). 地区担当CSWによる運営支援及び情報提供 (3). SNS等による活動状況の情報発信を強化する (4). ボランティアセンターと連携し、活動者募集の情報を発信する	(1). 【双柳：笑顔のカレーの会】毎月第4水曜日(9回) (2). 地域福祉推進事業費59,000円 (3). 【飯能中央：ふれあい交流室なぐりえんカレー食堂】毎月第4土曜日(11回) (4). CSWが適宜訪問および実施状況をヒアリングし、助言や情報提供を実施した (5). SNSなどで活動状況を発信
	(ウ) 多様な居場所づくりの推進	(1). 若者、こどもの居場所づくり団体のネットワーク化 (2). 市と連携及び市民会議と連動したネットワーク会議の開催(2回/年) (3). LINEオープンチャットを活用した情報発信及び共有	(1). こどもの居場所づくりネットワークを形成 (2). こどもの居場所づくり活動団体交流会の開催(共催：飯能市子育て総合センター) (3). 第1回 7月30日 (4). 参加者13人 (5). 第2回/3月7日 (6). 日常的なネットワーク構築のため、LINEオープンチャットを立ち上げ (7). 参加5団体
③ 生活支援活動の推進			
	(ア) 食材のおすそわけ会の開催支援(共催：はんのうみんな食堂、協力：その他企業等)	(1). 食材のおすそわけ会の開催 (2). 開催回数 1回/月 (3). 対象 生活にお困りの世帯(毎月約60世帯) (4). 内容 生協、企業等から寄付を受けた食材の配布	(1). 実施回数：毎月1回(全12回) (2). 延利用596世帯(前年度比117%) (3). 主な食材提供元：生活クラブ生協飯能支部、ホンダカーズ埼玉西東飯能店
(4) 福祉教育推進事業			
① 社会福祉協力校ボランティア推進校指定事業の実施			
	(ア) 社会福祉協力校ボランティア推進校指定事業の実	(1). 社会福祉協力校等指定事業の実施 (2). 対象 児童生徒を対象の福祉教育を	(1). 学校へプログラム作成、ゲストティーチャーの調

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	施	推進する小中高等学校 (3). 助成金 30,000円(上限)/1校 (4). 全校で助成金が活用できるよう周知を拡大する福祉教育担当者説明会の開催(共催:飯能市教育センター) (5). 開催回数 1回/年 (6). 概要 社会福祉協力校等指定事業の説明、福祉教育の推進方法の説明など (7). 地区担当CSWと学校の連携強化を図る (8). 飯能市社会福祉法人地域公益活動等連絡会と連携し、発達障害精神障害についての理解を促進するプログラムの開発	整、体験指導、用具貸出により支援 (2). 社会福祉協力校等指定事業の実施 (3). ①社会福祉協力校(6校/全体比:50%) (4). ②ボランティア推進校(2校/全体比:28.6%) (5). 助成金額:教育委員会会議出席 (6). 学校長会議2回 (7). 教頭会議1回 (8). 福祉教育担当者説明会の実施:1月29日(18人)オブザーバーとして障害福祉課が出席 (9). 発達障害精神障害についての理解を促進するプログラムの開発は不実施だが、説明会の中で障害福祉課から説明有
(5) 生活支援体制整備事業(飯能市受託事業)			
① 第2層における取組			
	(ア) 話し合いの場(協議体)の設置及び開催(13圏域)	(1). ふくしを話し合う会等(第2層協議体)圏域ごとの協議の場の運営 (2). 開催頻度 各圏域年2回以上開催 (3). 協議事項 圏域別ふくしの森活動計画の進行管理及び具体化のための検討 (4). 新たな地域活動の創出 (5). 既存資源のネットワーク化 など (6). 評価、改善の手法について先進事例をもとに検討し、地域共生PT及びSCで共有を図る	(1). 第2層協議体 ささえあい活動の状況、社会資源情報、地域課題の共有などを実施 (2). セブン-イレブン日高下川崎店と共催した移動販売の実施(6コース/34ヶ所) (3). ウェルシア薬局と共催した移動販売の新規実施(5コース/57ヶ所) (4). 評価改善 PDCAを用いてR6年度の圏域別ふくしの森活動計画の評価を実施した (5). ふくしの森活動者交流会でボランティア団体、地域福祉推進組織との交流を図った
	(イ) 地域支え合い活動の推進及び支援	(1). 新たな地域活動の創出 (2). 協議体の話し合いを経て設立された団体の活動支援 (3). 圏域別ふくしの森活動計画に沿った活動の推進 (4). はんのうふくしの森プラン推進市民会議、ふくしの森リーダーの育成との補完について第1層、第2層ともに検討する	(1). ささえあい活動活動のフォローアップ、新規団体設立を協議(第二区、加治東、原市場) (2). 地域福祉推進組織 新規設立を協議(双柳) (3). 各圏域の活動者がふくしの森活動者交流会でボランティア団体、地域福祉推進組織との交流を図った
	(ウ) 移動販売事業の実施 共催:セブン-イレブン日高下川崎店販売	(1). 共催店舗企業による移動販売の実施 (2). 実施目的 買い物困難者の支援、福祉ニーズの発見及び要支援者の見守りの機会、小地域コミュニティの形	(1). セブン-イレブン日高下川崎店共催 (2). 実施数(6コース/34カ所)

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		成の機会 (3). 令和5年度の利用状況を基にコースの再編開催日程の調整を行うまた、新規ニーズへ応えられるように体制整備を図る (4). 令和6年度下期から新たな企業との実施に向け、関係各所との調整を図る	(3). 新規立寄り調整 (2件) (4). 立寄り先再調整 (1件) (5). ウエルシア薬局株式会社共催 (新規) (6). 実施数 (5コース/57カ所) (7). 市およびウエルシア薬局株式会社と「地域共生社会に関する連携協定」を締結 (8). 関係機関および地域住民と立寄り先の調整を随時実施
② 地域包括ケア支援システムの運用			
	(ア) 地域包括ケア支援システムの運用	(1). 地域資源管理システムの運用 (Ayamu) (2). 概要 地域資源の詳細情報を掲載し、マッピングを行うシステム公的な福祉サービス等やボランティアによる活動までを網羅し地域包括システムの構築に寄与することを目的現状は、生活支援コーディネーターが把握しているインフォーマルサービス情報のみが本会ホームページを通して掲載 (3). 全情報の一般公開 公開時期 2025年1月ごろ (4). 生活支援コーディネーターの共通認識を高め、最新情報の発信に努める (5). 本会内で係横断的に取り組み、掲載情報の充実を図る	(1). はんのうふくしの森マップ (Ayamu 一般公開情報) : 1月10日公開 (2). ふくしの森マップの公開に向けて、定期的に掲載情報の確認、追加、情報整理を行った (3). Ayamu掲載情報を毎月1回各地区のCSWが担当地区の登録情報の更新登録を行った (4). 介護福祉課と連携し Ayamu ログインアカウント、パスワードの整理を行った
(6) ボランティアセンター運営事業			
① ボランティア市民活動支援事業			
	(ア) ボランティアセンターの運営	(1). ボランティア活動相談、需給調整 (ボランティア活動希望者とニーズとのマッチング) (2). ボランティアについての市民への普及及び啓発 (3). ボランティア活動者 (個人団体) の登録 (4). ボランティア活動保険等の窓口加入等の手続き (5). ボランティアスペースの充実 (6). 本会内でのボランティア情報の共有を推進する (Ayamuの活用) (7). ボランティアセンター運営方針に沿い、事業の企画運営を行う	(1). ボランティア登録団体 : 58 (前年△3) 個人 : 58 (前年+4) (2). ボランティア相談活動したい : 59 (前年+2) (3). 活動してほしい : 17 (前年△4) (4). その他 : 10 (前年+9) (5). ボランティア登録および相談の供覧 [月1回]
	(イ) ボランティアセンター運営委員会の開催	(1). 開催回数 3回/年 (6月、10月、12月) (2). 協議事項 ボランティアセンターの事業計画及び報告、評価	(1). 開催日 : 6月3日、9月9日、1月27日 (3回) (2). [主な協議事項] (3). 令和5年度事業報告

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		(3). ボランティアセンター事業の企画、実践	(4). 交流会、講座等の事業について (5). 営利活動のためのボランティア募集について
	(ウ)	ボランティア交流会の開催 (1). ボランティア活動者及び団体の連携を目的とした交流会の開催 (2). 開催回数 1回/年 (3). 開催時期 2～3月ごろ (4). 定期的な開催を図るため、本会実施で類似している事業との整理や共同開催も検討する	(1). 第1回/10月11日 参加者数(94人) ※はんのうふくしの森活動者交流会として、地域福祉推進組織、支え合い活動団体と合同開催
	(エ)	ボランティアしみん活動 ちいき情報「JOYJOY」の発行(毎月) (1). 発行回数 1回/月 (2). 発行部数 500部/1回 (3). 主な配布先 ボランティア登録者及び団体、市内、公共施設、スーパー等 (4). 本会ホームページ、SNSにより掲載 (5). より多くの市民の目に触れるよう、ボランティア団体の紹介など紙面の充実やカラー化の検討を行う	(1). 発行回数(11回) (2). 平均発行部数(約493部) (3). 送付先(155件) 赤黒2色刷りに変更 ボランティアを始めるまでのフローを掲載 (4). ボランティア募集情報に関するお知らせを掲載し フォームで受付開始 (5). ⇒掲載依頼:3件 ボランティア活動を“したい”情報の掲載 (6). 善意銀行の寄付物品に関する記事の掲載
② ボランティア育成事業			
	(ア)	彩の国ボランティア体験プログラムの実施 (1). 若年層の市民をターゲットに、ボランティア活動に触れるきっかけをつくるため、市内福祉施設、ボランティア団体等での活動体験メニューの提供 (2). 周知用チラシの発行(市内小～高等学校へ配布) (3). ホームページ、SNSでの周知 (4). 参加への心理的ハードルを下げ、参加促進を図るためWEBによる参加申込を導入する	(1). 【周知】チラシ配布、HPおよびSNSでの発信 (2). 【申込】6月25日～7月9日 Googleフォームまたは電話 (3). 【メニュー数】23(昨年度+3) 【事前説明会】7月23日、7月26日(2回) (4). 【実施】7月23日～9月30日 【参加者数】のべ198人(前年度比:173%)
	(イ)	各種ボランティア講座の開催 (1). SNS活用講座 (2). 開催時期 6月ごろ (3). 対象 ボランティア活動団体に属している方 概要 LINEやインスタグラムなどを活用した活動の周知方法、団体間の情報共有の方法など (4). いちからはじめるボランティア講座 (5). 開催時期 1月ごろ (6). 対象 新たにボランティア活動をはじめたい方 (7). 概要 ボランティアの基礎知識、市内のボランティア活動紹介 (8). ボランティアセンター運営委員会の協議を通して、ボランティア活動に関するニーズ把握を行う	(1). ①SNS活用基礎講座 (2). 開催日:11月19日 (3). 内容: SNSの基礎、活用事例報告 参加者:16人 (4). ②「やってみよう」から「やってみる!」へボランティア体験講座 (5). 講義:1月14日 (6). 体験:1月15日～2月20日 (7). 振り返り:2月21日 (8). 内容: 講義「ボランティアについて」、活動体験、超高齢社会体験ゲーム「コミュニティコピー

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
			ング」を通じた振り返り (9). 参加者：講義 12 人、体験 8 人、振り返り 4 人
	(ウ) 共学支援ボランティア講座の開催	(1). 共学支援ボランティア講座 (2). 開催時期 5~7 月ごろ (3). 対象 受講後、狭山特別支援学校でボランティア活動が行える方 (4). 概要 狭山特別支援学校で学ぶ知的障害のあるこどもとの交流、理解	(1). 飯能市の参加者：1 人 (2). 問い合わせ：1 人
③ 災害に向けた取組			
	(ア) 災害ボランティアセンター設置及び運営訓練の開催	(1). 災害ボランティアセンター設置及び運営訓練 (2). 開催時期 10 月ごろ (3). 対象 本会職員 概要 大規模災害を想定した災害ボランティアセンターの立上げから運営のシミュレーションを行う	(1). 災害ボランティアセンター運営訓練 開催日程：12 月 22 日 (2). ※災害時支援に関心のあるボランティアへ声掛けを行った (3). 参加者数：28 人（うち市民 9 人）
《生活支援係》			
(1) 外出支援（福祉移送サービスカー）事業			
① 福祉移送サービスカー貸与事業の実施			
	(ア) 福祉移送サービスカー貸与事業の実施	(1). 障害、疾病などにより車いす等を使用する必要があり、公共交通機関の利用が難しいため外出が困難な方を対象に次の事業を行う (2). 移送サービスカー（福祉車両）の貸与 (3). (ア) きらめき号 9 人乗り車いす、ストレッチャーによる搭乗可 (4). (イ) こじか号 4 人乗り車いすによる搭乗可 (5). 車両運転士の派遣 (6). 移送サービスカーの利用にあたり、運転手の確保が困難な方に対し、車両運転士を併せて派遣する (7). 新規利用者の生活状況、自宅周辺状況の把握を目的とした訪問調査を再開する (8). 土休日の事故対応フローの作成 (9). 車両運転士と利用者の連絡体制の確保	(1). 154 件実施 (2). 家族運転 28 件 (3). 運転者派遣 126 件
(2) たすけあいサービス事業			
① ヘアカットサービス事業			
	(ア) ヘアカットサービス事業の実施	(1). 疾病や障害などにより外出が困難な方に対して、身だしなみや清潔感を	(1). 出張手数料 2,000 円⇒3,000 円に増額した

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		<p>高めることで生活の質の向上を図るため、共催団体に所属している店舗からご自宅に理美容師を派遣する</p> <p>(2). 協力店への出張手数料の補助</p> <p>(3). 3,000円/1回 登録者者1人 4回/年 利用可</p> <p>(4). ※カット料金実費は利用者負担</p> <p>(5). 協力店の減少に歯止めをかけるため、出張手数料の増額を行う</p>	<p>(2). 協力店 10店舗</p> <p>(3). 利用総数 84件</p> <p>(4). 支払い金額 252,000円</p>
② ひとり親家庭支援事業			
	(ア) ひとり親家庭支援事業の実施	<p>(1). クリスマスお買物券の発行</p> <p>(2). 実施時期 12月ごろ</p> <p>(3). 対象 低所得のひとり親世帯及びそれに準ずる世帯</p> <p>(4). 概要 対象世帯に、市内協力店で買える「クリスマスお買物券」配布</p> <p>(5). 市子育て支援課の協力により、対象要件の見直し及び効果的な周知を実施</p> <p>(6). 協力店の新規拡大</p>	<p>(1). 申込世帯 162世帯 (対象外1世帯) (R5年度78世帯)</p> <p>(2). お買物券発行 1,212枚</p> <p>(3). お買物券発行金額 606,000円</p> <p>(4). お買物券利用枚数 1,162枚</p> <p>(5). お支払い金額 581,000円</p> <p>(6). 利用率 95.8%</p> <p>(7). 新規協力店 1店舗</p> <p>(8). グーグルフォームと窓口での申込みとした(グーグルフォームから申込 107件)</p> <p>(9). アンケート 95人に送信、回答 12件</p>
③ フードバンク事業			
	(ア) フードバンク事業の実施	<p>(1). 一時的に経済的支援を必要とする世帯に対する食糧による支援(最長1ヵ月分)</p> <p>(2). 就学援助制度利用世帯等経済的に困りの世帯に対する食糧による支援</p> <p>(3). 概要 市内公立小中学校通学中で就学援助制度を利用されている世帯のうち、希望するご世帯に対し、フードバンクにて集まった食料を配布</p> <p>(4). 寄付者からの食糧の受入</p> <p>(5). 需給のバランス調整のため、「ひとり親家庭支援事業」でもお菓子等の寄付食品を活用する</p>	<p>(1). 食料受入 158件</p> <p>(2). 提供件数 84件 (R5年度 59件)</p> <p>(3). 就学援助制度利用世帯等経済的に困りの世帯に対する食糧による支援⇒不実施</p>
(3) 歳末たすけあい義援金配分事業			
① 歳末たすけあい義援金配分事業			
	(ア) 歳末たすけあい義援金配分事業の実施	<p>(1). 対象 経済的に困りの世帯、親御さんを亡くされた児童</p>	<p>(1). 配分金額合計 1,856,000円</p> <p>(2). 低所得世帯 142世帯</p>

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		(2). 実施時期 12月ごろ (3). 概要 歳末たすけあい募金を財源に、上記対象者に民生委員児童委員を通じて義援金を配布	1,562,000円 (3). 加算 96世帯 96,000円 (4). 遺児 22世帯 198,000円
(4) 経済的支援事業			
① 低所得世帯生計援助資金貸付事業			
	(ア) 低所得世帯生計援助資金貸付事業の実施	(1). 低所得世帯の生計の安定を図るため、更生に必要な最低限の貸付により、地域で自立した生活を送れるよう支援する (2). 対象 わずかな生計費の出費によって生活をおびやかされる世帯 (3). 貸付限度額 50,000円 (4). 貸付期間 6カ月(最長) (5). 経済的困窮をベースとした複合課題を持つ世帯への対応力増強のため相談支援体制の強化を図る	(1). 16件の貸付：貸付金額 520,000円 (2). 生活保護受給までのつなぎ…10件 (3). 初回給与までのつなぎ…5件 (4). 再就職手当金までのつなぎ…1件
	(イ) 償還指導の充実による自立支援	(1). 償還滞納世帯の居住確認及び督促状の発送 (2). 連帯保証人への督促状の発行	(1). 全債務者に対する督促は不実施 (2). 今年度、初回滞納者に対しては償還指導を行った
② 生活福祉資金貸付事業(埼玉県社協受託事業)			
	(ア) 生活福祉資金貸付事業の実施	(1). 低所得世帯、障害者世帯又は高齢者世帯に対する資金の貸付と必要な相談支援 (2). 資金種類 総合支援資金/福祉資金(福祉費、緊急小口資金)/教育支援資金/不動産担保型生活資金など (3). 経済的困窮をベースとした複合課題を持つ世帯への対応力増強のため相談支援体制の強化を図る	(1). 貸付に関する相談は261件(月平均22件) (2). 上記の内、貸付決定に至った申請は2件
	(イ) 償還指導の充実による自立支援	(1). 埼玉県社協との債務者情報の共有による債権管理	(1). 3か月に1度の払込取扱票の通知送付を4回行った
	(ウ) 特例貸付償還猶予延長申請に伴う面談等、償還事務	(1). 借受入との面談または、電話での聞き取り (2). 償還に関する問い合わせへの対応	(1). 償還猶予延長申請面談8件 (2). 償還に関する問い合わせは随時実施
③ 彩の国あんしんセーフティネット事業			
	(ア) 関係機関との連携強化	(1). 生活困窮者に対して、関係機関と連携し、訪問相談を通じて必要な制度につなぐ	(1). 利用 12件 (2). 前年度比 1,200%
④ 相談機能の強化			
	(ア) 事例検討会の実施	(1). 会議目的を明確にし、開催方法、回数を決定し実施	(1). 係を横断しての会議は不実施
(5) 権利擁護事業			
① 福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと 埼玉県社協受託事業)			
	(ア) 福祉サービス利用援助事業の実施	(1). 判断能力の不十分な高齢者や知的障害精神障害のある方などが、安心して	(1). 契約件数…20件 (2). 支援員連絡会 9/30開催

令和6年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
	て生活が送れるよう、福祉サービスの利用や暮らしに必要な生活費を管理し支援する (2). 生活支援員連絡会の開催 (3). 開催時期 9月ごろ (1回/年) (4). 市民等に向けた周知 (ホームページ等) (5). 新規契約及び支援が円滑に行えるよう、関係機関を対象に正しい制度理解について周知する	9人参加 (3). 新規採用支援員…3人 (4). 市役所ホームページ(成年後見制度)に本会ホームページへのリンクを掲載し、わかりやすくした
② 法人後見事業		
(ア) 法人後見事業の実施	(1). 判断能力の不十分な認知症や知的障害精神障害のある方の権利利益を擁護するため、本会が成年後見人等を受任し、養成した市民後見人が後見支援員となり、被成年後見人等の身上保護や財産管理を行う (2). 広く市民への理解を図るため、ホームページ等で周知	(1). 受任件数…18件 (2). 後見支援員…11人 (3). 本会ホームページの目立つところに事業内容について等の記事を作成、掲載
(イ) 法人後見運営委員会の開催 (年4回)	(1). 開催回数 4回/年 (6月、9月、11月、2月) (2). 協議事項 法人後見受任の適否、受任中の被後見人の支援についての現況報告	(1). 対面にて4回開催委員の改選等があり、6月と9月に各一人ずつ、新しい委員となった
(ウ) 後見支援員のスキルアップ研修の実施	(1). 開催時期 2月ごろ 1回/年 (2). 概要 本会に従事している後見支援員のスキルアップを図る研修会の開催	(1). 支援員連絡会 9/30 開催 9人参加 (2). 後見支援員研修 12/17 9人参加
③ 成年後見推進事業の実施 (飯能市受託事業)		
(ア) 飯能市成年後見支援センターの運営	(1). 成年後見制度の普及啓発相談 (2). 市民後見人養成講座修了生への活動支援	(1). 相談件数…43件 (2). 本会ホームページのトップページに「成年後見」のページを掲載した (3). 市役所ホームページ(成年後見制度)に本会ホームページへのリンクを掲載し、わかりやすくした (4). 市民、関係機関からの相談に対応した (5). 飯能市家族支援事業へ講師派遣した (6). 市民後見人修了生へフォローアップ講座の案内を通知した
(イ) 市民後見人養成講座入門編の開催	(1). 開催時期 10~1月ごろ 1回/年 (2). 対象 本市在住、在勤、在学されている方で、成年後見制度の基本を学び、市民後見人に対する理解を深め	(1). 令和6年7月27日(土) 午前10時から11時30分 (2). 「よくわかる! はじめての成年後見講座」

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		ようとする者但し、本講座の全カリキュラムを受講できる者とする (3). 概要 成年後見制度の基本を学び、市民後見人に対する理解を深めていただく機会を提供することで、将来市民後見人として活動するきっかけとすることを目的とする (4). 令和7年度に向け、講座の開催方法やカリキュラムの見直しを図り、より多くの市民が市民後見人として活動できるよう検討を図る	(3). 受講者 33 人 (4). 講師 高橋 弘氏 (けやき野司法書士法人 経営責任者)
	(ウ) フォローアップ研修の企画、開催	(1). 開催時期 12~3月ごろ 1回/年 (2). 対象 市民後見人入簿登載者 (3). 概要 活動に必要な知識と技術を身につけることを目的とした研修会	(1). 令和6年7月27日 (土) 午後1時30分から午後3時 (2). 「令和6年度市民後見人フォローアップ研修」 (3). 受講者28人 (フォローアップ研修対象者22人、本会后見支援員6人) (4). 講師 浅見 隆行氏 (木もれ日社会福祉士事務所 社会福祉士)
	(エ) 市民後見人等に係る周知広報	(1). 現状、本会ホームページに未掲載のため成年後見支援センターと合わせて掲載を行う	(1). 社協だよりにより市民後見人の活動についての記事を掲載した
④ 市民よろず相談事業の実施			
	(ア) 市民よろず相談の開催 (共催：飯能市 (生活安全課所管))	(1). 開催回数 1回/月 (原則第3水曜日) (2). 概要 法律相談、行政相談、建築相談等多様な相談員によるよろず相談会の開催	(1). 延件数 147件 (2). 延参加者 177人
《介護支援係》			
(1) 居宅介護支援事業 (けあしやきょう)			
① 居宅介護支援事業の実施			
	(ア) 居宅介護支援事業	(1). 居宅介護支援事業の実施	(1). サービス提供実績1,732件 (Av.144件/月) 前年度比 126% (2). 居宅介護支援費(1-i)の取扱件数を確認しつつ増加 (3). 職員負担は軽減のため、業務の効率化を検討
	(イ) 介護予防支援事業 (受託)	(1). 受託事業の継続 (原則新規は受け付けず)	(1). サービス提供実績 64件 (Av.6件/月) 前年度比 188%
	(ウ) 介護予防ケアマネジメント事業 (受託)	(1). 受託事業の継続 (原則新規は受け付けず)	(1). サービス提供実績 13件 (Av.1件/月) 前年度比 108%
	(エ) 質の高いケアマネジメントの提供及び安定した事業所運営の継続に向けた取組	(1). 職員研修の充実により質の高いサービス提供と事業所運営指針に沿った事業所運営	(1). ケアマネ定例会の開催 8回 (2). 集団指導の内容について、虐待防止委員会につ

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
			いてなど (3). 各種研修会等への参加 (4). 飯能市介護支援専門員協議会研修会への参加11回(延参加者42人) (5). 飯能日高地区ワールドカフェへの参加2回(延参加者4人) (6). 飯能市介護サービス事業者協会主催研修会への参加2回(延参加者5人) (7). CareCure ネット研修会への参加1回(参加者1人) (8). 飯能地区医師会主催研修会への参加4回(延参加者10人) (9). 認定調査員現任研修の受講1回(参加者5人) (10). 要介護認定調査の実施(受託)5件/月
② 地域貢献の取組			
	(ア) 支援困難高齢者の受け入れとケアマネジメントの提供	(1). 地域包括支援センター等関係機関と調整のうえ受け入れを行う	(1). 支援困難事例のケアマネジメント提供実績 (2). 山間地域事例16人 (3). ターミナルケア事例10人 (4). 処遇困難事例7人
	(イ) 飯能市介護支援専門員協議会実行委員会防災分科会への参加及び協力	(1). 職員の参加継続	(1). 飯能市介護支援専門員協議会実行委員会への出席12回 (2). 同会防災分科会への出席6回 (3). 主任ケアマネジャー部会への出席6回
≪地域包括支援係≫			
(1) 基幹型地域包括支援センター事業(飯能市受託事業)			
① 地域包括支援センターの後方支援			
	(ア) 処遇困難事例の対応支援	(1). 随時 (2). 市や地域型地域包括支援センターと連携を取り、適切かつ迅速に対応する (3). 対象者の安全を守るとともに、自立支援を促す	(1). 処遇困難事例や虐待事例について、市や地域型地域包括支援センターと連携して対応支援した相談件数227件
	(イ) 各地域包括支援センターチームミーティング等への参加	(1). 市内4カ所の地域型地域包括支援センターチームミーティングに出席し、事例及び各種事業の進捗に関する情報共有を図る	出席回数 合計48 (1). いなり町10回 (2). さかえ町10回 (3). みなみ町16回

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		(2). 参加頻度 1回/週～月程度(各地域包括支援センターによって開催頻度が異なる) (3). 事例や各種事業に対して、技術的助言を含めた後方支援の実施	(4). はちまん町 12回 (5). 事例及び各種事業の進捗状況について共有するとともに、協議を行った
	(ウ) 各在宅介護支援センター実態把握受領会への参加	(1). 市内3カ所の在宅介護支援センターを訪問し、在宅介護支援センター職員の訪問内容の情報共有を図るほか、地域課題を把握し、地域包括ケアシステム構築に向けた取組につなげる (2). 参加頻度 1回/月	出席回数 合計 17回 (1). 太行路 5回 (2). 吾野園 6回 (3). はらいちば 6回 (4). 訪問内容について情報共有を行うとともに地域課題の把握を行った
	(エ) 地域包括支援センター職員への技術的助言、業務指導、研修等の企画、実施の協力	(1). 地域包括支援センターへの後方支援 随時 (2). 事例に対する技術的助言をはじめ、各種事業の開催及び運営支援 (3). 地域包括支援センター連絡会の開催 2回/年 (4). 地域型及び基幹型地域包括支援センター職員間の情報共有及び資質の向上	(1). 地域包括支援センター連絡会の開催 年2回 (2). 業務継続計画(BCP)に関する卓上訓練 (3). 「平時の感染対策の注意点」(動画視聴) (4). Ayamuの活用方法について
② 在宅医療介護の連携			
	(ア) 多職種連携座談会飯能日高地区ワールドカフェ(事務局機能)の団体運営支援	(1). 団体運営の支援 (2). 役員会開催 6回/年 (3). 部会開催 適宜 (4). 役員がより一層運営に主体的に関与できるよう、支援を行っていく	(1). 役員会の開催(奇数月) 5回 (2). 部会の開催(不定期) (3). ワールドカフェ部会 5回 (4). 市民フォーラム部会 5回 (5). 第10回市民フォーラム「在宅医療を知っていますか?」映画上映 参加者 239人
	(イ) 医療介護関係者の研修の企画協力	(1). ワールドカフェの開催支援 (2). 開催回数 2回/年(予定) (3). 事業目的達成のため、参集型による開催について検討を行う	(1). ワールドカフェの開催 2回 (2). 第18回 症例を基に多職種の連携方法について考えよう参加者 105人 (3). 第19回 人生プランノートについて考えよう参加者 96人
③ 認知症施策の推進			
	(ア) 認知症初期集中支援事業の実施及びチーム員との連携	(1). 初期相談及び訪問判定の実施 随時 (2). 地域包括支援センターの相談に基づき対象者を訪問し、認知症初期集中支援チームによる対応の可否を判定する (3). 認知症初期集中支援チーム員会議への出席 12回/年 (4). チーム員との連携 随時 (5). 事業を迅速かつ円滑に進めるための調整を行う	(1). 初期相談及び訪問判定 9件 (2). 認知症初期集中支援チーム員会議への出席 12回 (3). 認知症初期集中支援チーム検討委員会への出席 2回
	(イ) 認知症地域支援推進員連絡会への参加	(1). 認知症地域支援推進員連絡会 1回/月 (2). 認知症支援のための事業の実施に向けて、検討や企画を行う	(1). 認知症地域支援推進員連絡会への出席 12回 (2). アルツハイマー月間事業の開催に向けた協議及び

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
		(3). ※認知症地域支援推進員は、すべての市町村に配置され、各市町村が進めている認知症施策の推進役、そして地域における認知症の人の医療介護等の支援ネットワーク構築の要役として、地域の特徴や課題に応じた活動を展開	事業に参加 (3). ひだまりカフェ in メツツアの開催に向けた協議や調整等を実施 (4). 第9期介護保険事業計画（認知症セ策推進計画）に沿った事業を企画提案
③ 介護予防生活支援サービスの充実			
	(ア) 生活支援体制整備事業（第1層）の実施	(1). 介護予防生活支援サービスの充実に関する協議体（第1層協議体）の開催 (2). 開催回数 6回/年（偶数月） (3). 概要 飯能市全体に共通する地域課題の解決策の検討、多様な主体、活動者のつながりづくり (4). 第2層との連携方法についての協議を行う (5). 支えあいの仕組みづくり (6). 支えあい活動団体交流会の開催など (7). 第2層（地区別の活動）の取組への支援	(1). 第1層協議体の会議の開催4回 (2). 車を使ったお出かけ支援 (3). 研修会の開催1回 参加者52人 (4). ふくしの森活動者交流会の開催1回 参加者94人
	(イ) 自立支援型地域ケア会議の開催	(1). 自立支援型地域ケア会議 (2). 開催回数 1回/月 (3). 概要 介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力向上を目的に、多職種によるケース検討、助言を行うとともに、地域課題の把握を行う (4). 検討事例 3件/月 モニタリング 2件/月 (5). 地域課題の可視化及び他の会議体（地域課題型地域ケア会議、地域ケア推進会議）との連携	(1). 自立支援型地域ケア会議の開催12回 (2). 検討事例数 24件 (3). モニタリング 12回 (4). 自立支援型地域ケア会議検討会 2回
	(ウ) 地域課題型地域ケア会議への参加	(1). 地域課題型地域ケア会議への参加 随時参加 (2). 概要 地域型地域包括支援センター主催し、地域課題についての検討及び解決に向け必要な社会資源の創出を目指す	(1). 参加回数 9回（いなり町2回、さかえ町2回、みなみ町3回、はちまん町2回） (2). 地域の課題に関して取組み方法等について協議した
	(ウ) 介護予防事業への支援（むーまいいきいき体操、ごきげん体操、介護予防サポーターとの協働等）	(1). 概要 地域型地域包括支援センターが行う介護予防事業について、円滑に実施できるよう支援	(1). 保健師、看護師職種会議において、介護予防事業を評価するため、介護予防サークルとむーまいいきいき体操の団体に「高齢者の健康と活動に関するアンケート」を実施した (2). 介護予防サークル 14カ所 168人 (3). むーまいいきいき体操 33カ所 402人 (4). 人
《係横断》			
(1) 広報啓発事業			
① 情報発信事業			
	(ア) 社協だよりの発行	(1). 発行回数 3回/年（5、7、12）	(1). 発行回数（3回）

令和6年度事業計画		計画概要 (plan)	実施状況 (Do)	
		月) (2). テーマ型連載記事の掲載：社会的関心の高い内容を年間を通じて取り扱う（例こども食堂） (3). 年間発行予定表の作成：年度頭に年間発行予定表を作成し、余裕を持ったスケジュールリングを心がける (4). 「必要記事枠（必ず掲載しないといけないもの）」の洗い出し：各号の「必要記事枠」を把握し、戦略的にスペースを活用することで、記事内容の充実を図る (5). SNSでの情報発信：最新号発行のタイミングでSNSでも最新号を発信する	(2). 発行部数（各号 29,000部） (3). HP 掲載 (4). 発行部数の見直し (5). 発行月の見直し	
	(イ)	社協ガイドブック（詳細概要）の発行	(1). 発行時期：5月ごろ (2). 発行部数：概要版 350部、詳細版 100部 (3). 配布対象：特別会員、民生委員児童委員、相談者など	(1). 概要版は廃止 (2). 詳細版は20部のみ印刷 (3). 必要時に必要箇所を印刷する方法に変更した
	(ウ)	インターネットを活用した情報発信	(1). 活用媒体 ホームページ、フェイスブック、Instagram、LINE (2). SNSを活用しターゲットを絞った情報発信を行う：R6年度は児童センターおよび美杉台 (3). 児童館専用のLINEアカウントを開設し、事業情報の周知などを行う (4). 勉強会の開催（広報委員向け）：広報委員会内でHPの更新、SNSの運用ができるメンバーを増やす (5). 勉強会の開催（全職員向け）：広報委員を中心に全職員を対象とした情報発信に関する勉強会を開催する (6). HPでの広告枠設置に向けた調整：HPにGoogle Analyticsを導入しアクセス解析を行う (7). 情報発信に必要な機材を選定し、内容の充実を図る	(1). ホームページ、SNSを活用した社協事業および共募活動の情報発信を実施 YouTubeを活用し研修動画などの後日視聴を実施 (2). 全職員向け勉強会：不実施 (3). 広報委員向け勉強会：公式LINEアカウントの運用勉強会を開催した（1回） (4). HPの広告枠設置に向けた協議：不実施 (5). 必要機材の選定：不実施
	(エ)	広報委員会	(1). 広報委員会の開催（随時開催） (2). 協議事項 社協だよりの発行、その他情報発信に関する職員向 (3). 勉強会の開催 (4). 広報委員会を定期開催化し、広報委員の情報リテラシーとITリテラシーを高める (5). 社協だよりのR7年度以降の発行形態、回数を検討する (6). 情報発信の即時性が求められる中で、広報委員会のあり方について随時協議する	(1). 広報委員会開催回数（9回） (2). 年間スケジュールの作成、社協だよりの構成検討、広報活動で使用する用語の統一、SNSの運用、デジタルサイネージの活用方法について協議した
② 飯能市社会福祉大会の開催				
	(ア)	社会福祉功労者表彰	(1). 開催時期 2月ごろ 1回/年 (2). 概要 地域福祉の発展に長年の貢献及び功績があった方々を称え、謝意	(1). 令和7年3月2日に実施 (2). 会長表彰受賞者 73件 (3). 支会長感謝 7件

令和 6 年度事業計画	計画概要 (plan)	実施状況 (Do)
と敬意を表する (3). 社会福祉事業功労者表彰の実施		